

えんだより

2018年
6月号

NO. 147

シャローム三育保育園

今年も梅雨の季節がやってきました。天候も不安定で体調管理も難しい季節です。まずは十分に睡眠が取れるように生活を整えましょう。健康は一日にしてならず。日々の積み重ねです。「よく食べ、よく遊び、よく寝る」子どもの生活習慣は大人が作らなければなりません。上手に誘導してあげましょう。時間に追われる毎日だと思いますが、子どもは子どもの時間割で過ごせるようにご家庭での過ごし方を意識してみてください。

園長 村上 渉

掲示板練習メッセージ6月1日頃配信いたします

《お知らせ》

*5月より ○○○○○ ○○○○○ ○ ○○○さんが調理補助として入職いたしました。

今月の予定

日	月	火	水	木	金	土
					1 保育参観・懇談会	2
3	4 礼拝	5 体操教室	6 クッキング (4.5歳児)	7 ランランデー (4.5歳児)	8 時計屋さんごっこ	9
10	11 礼拝	12 体操教室	13	14 英語教室 (3.4.5歳児)	15 じゃが芋掘り	16
17	18 礼拝	19 体操教室	20 避難訓練	21 英語教室 (4.5歳児)	22	23
24	25 クッキング (3.4.5歳児)	26 体操教室	27 誕生会	28 歯科検診 英語教室 (3.4.5歳児)	29 保育園職員会	30

※じゃが芋掘りは、15日が雨の場合、22日に延期になります。

自然から学ぶ

保育園の周りには“虫さん王国”があります。あたたかくなって草が伸び、草花が咲いた虫さん王国にはてんとう虫やバッタ、ちょうちょ、トカゲなども現れます。

先日、虫を捕まえてきた子どもとのこんなやり取りを耳にしました。その子は捕まえてきた虫を飼いたいと言いました。飼う為にはエサになる虫が必要だねという話になり、その子は「じゃあいっぱいとってくるね!」と行って探しに行きましたがえさになる虫をたくさん見つける事ができず、その虫を逃がしてあげることになりました。

虫の飼育や植物の栽培などを経験することは生き物を育てる為に必要なことを知り、飼う事や育てる事の難しさや命の尊さを学ぶことで心の成長に繋がります。

また五感を刺激し感受性や想像力を豊かにします。

保育園の周りには木や緑がたくさんあります。普段から自然に触れる機会をたくさん取り入れて生き物に親しめるように取り組んでいます。世の中はどんどん便利になり生活環境も変わっていきませんが、そもそも人間も自然の中で虫や他の生き物と一緒に共存している事を忘れてはいけません。

自然と触れ合う事も一つの“出会い”ですね。大人になると子どものときには夢中になって追いかけていた虫が苦手になる人も多いようですが、是非、子どもが好奇心旺盛で抵抗感の少ないうちに、たくさんの“出会い”を体験させてください。

